市長提出議案

委員会審査概要

総務水道常任委員会

◆一般会計補正予算

下八間堀水路事業計画書作成業務について、歳出分22％の負担金収入があるが、その根拠と次年度以降の負担は。

下八間堀水路延長の割合で計算されていて、下八間堀水路に係る事業について松伏町に負担いただくものである。

吉川美南駅東口周辺土地区画整理事業について、社会資本整備総合交付金1億2839万円の減額。整備計画を国に提出し申請しているのに内示額が55％という数字になったのはおかしくないか。

また、ふるさと創造資金1千万円が繰出金として計上されている理由と趣旨は。

減額した理由は、国においても予算額があり、各地方公共団体から申請された事業を選別した結果が内示額となって示されたと考える。昨年のように想定より多く交付金が交付される事例もある。

ふるさと創造資金に関しては、県の補助金で、新たな取組みでふるさとづくりに寄与する事業に交付される。

本年度になり活用できるのではないかと調整をしたものである。社会的資本整備総合交付金の対象外である事業地内の緑地の整備に活用する。

畜犬登録システムのサーバー方式とは。

現行、オフラインのパソコン1台で運用しているが、データを親機のサーバーに保管することで、複数人での作業や分散勤務が可能になる。

賛成全員で可決

◆水道事業会計補正予算

配水管洗浄作業業務委託料について、減額理由は。

落札により、契約額が当初見積より下がったことによるもの。

石綿管の布設替え設計委託の工区はどこか。

吉川駅北側から県道越谷流山線までの間で、石綿管が残っている区域。

賛成全員で可決

文教福祉常任委員会

◆一般会計補正予算

社会福祉協議会支援事業について、相談室はどこに設置するのか。また、どこまでを修繕するのか。

相談環境を良くするとともに、感染リスクを低減させるための環境整備で、空調機の修繕、トイレの洋式化等である。

生活保護事業扶助費として、4千万円計上されている。上半期の増と今後の見込み分とのことだが内容はどうか。

コロナの影響による上半期分の伸びはそれほど多くない。給付金や特例貸付金で凌いでいる印象を持っている。今年度の保護申請件数は61件であり、急激な伸びとはなっていない。

前年のインフルエンザの予防接種率は50％、本年度はすでに53％と聞いている。70％に上げるにはハードルが高いと考えるがどうか。

11月以降の動向によるものと思うが、昨年同時期の10％台に対し、現時点で50％であることから、70％程度になるのではと推測している。

県で指定医療機関が公表されたが、今後、PCR検査センターはどうなるのか。

受診・検査を受けることができる医療機関が公表されたが、センターは鼻腔採取法なので、短時間で検査ができるメリットがあり、引き続き、役割を担っていく。

吉川中学校校歌作成謝礼として50万円計上されている。時系列的に説明を願う。

生徒から校歌を作成したいと声が上がり、2学期開始とともに生徒会6名、学級委員4名が中心となり、募集したフレーズなどを基に作詞作曲を進めている。1月下旬頃に